

福音主義神学

52

2022.12

教会とキリスト者の成熟

目次

巻頭言 岸本大樹

論文

パウロ書簡における教会人としてのキリスト者の成熟 岩上敬人

教会とキリスト者の成熟に関する教会論的検討 石崎伸二

教会とキリスト者の成熟 ―神の国の視座の中で― 坂井純人

ダビデは成熟した人だったのか ―サムエル記～列王記と
詩篇に基づく共同体的視点からの評価― ランドル・ショート

子どもの信仰成長と教会・家庭の役割 杉本玲子

投稿論文

自然科学と歴史学に「誤りのない知識」は存在するのか 金井由嗣

聖なるものの受肉 ―交わりの回復を目指すキリスト教倫理へ― 広瀬由佳

会員刊行文献目録 (2021 ~ 2022)

活動報告 (東部・中部・西部・全国)

論文執筆要項・賛助会員一覧

日本福音主義神学会

EVANGELICAL THEOLOGY

52

December, 2022

The Church and Christian Maturity

Editors

H. Minamino, H. Hiratsuka, T. Oba, K. Yamazaki-Ransom, T. Yoshida

CONTENTS

Foreword Daiki Kishimoto

Featured Articles

Church and Christian Maturity in Paul's Letters to the Romans,
Ephesians, and Philippians Takahito IwagamiAn Ecclesiological Examination of the Church
and Christian Maturity Shinji IshizakiThe Church and Christian Maturity:
In the Perspective of the Kingdom of God Sumito SakaiWas David Mature? An Evaluation Based on Samuel-Kings
and Psalms from a Communal Perspective J. Randall ShortChildren's Growth in Faith and the Role of Church
and Family Reiko T. Sugimoto

Articles

Biblical Inerrancy and the Method of Science: Can We Find
an Inerrant Fact in Science or History? Yoshitsugu KanaiIncarnation of the Holy: Toward a Christian Ethic
for Recovering Fellowship Yuka Hirose

Members' Achievement Records

Published by

The Japan Evangelical Theological Society

巻頭言

岸本大樹

第16回全国研究会議を終えて

第16回全国研究会議のパンフレットにも記しましたが、「キリスト者の成熟」というテーマを決めるきっかけとなったのは、キリスト者の未熟さが話題になり、「正しい神学的営みは、我々を人格的にも成熟させるのではないか？」ということを議論したことです。その際、「福音派の中には、意図せずとも、神学的な営みとキリスト者の霊的・人格的な成熟とを無関係に考える傾向があるのではないか？」という問題提起もありました。

「キリスト者の成熟」というと、霊的な体験を含む個人的な側面ばかり考えられがちですが、上記の議論を踏まえ、取り上げるポイントを具体的に3つに絞りました。キリスト者の成熟がどのような形で教会人としての成熟に関わるのか（教会論）、社会に生きる良い市民になるという意味での成熟とは何か（キリスト教倫理）、そして文化を創造する、感性における成熟とは何か（宣教論）という3つです。

3つには絞りましたが、全国研究会議として志したことは、我々に与えられている福音が我々の全領域に及ぶ包括的なものだということの再確認と、我々の成熟がすべての営みで用いられる可能性を見出すことです。キリスト者が成熟するということは、それが個人的な経験に留まらず、教会形成や宣教、文化形成にまでつながり、広がっていくということを学ぼうとしたのが全国研究会議です。

キリスト者の成熟と、教会論、キリスト教倫理、宣教論という3つの関係が深まった点もあれば、もっと研究や議論を重ねるべき点もあったと思います。しかし、福音主義に立つ諸教会が「キリスト者の成熟」ということを考える上で、第16回全国研究会議は貴重な経験になったと思います。

最後に、この紙面をお借りして、第16回全国研究会議で講演や応答でご奉仕

していただいた先生方、参加して下さった方々に改めて御礼を申し上げます。
有難うございました。

(大阪聖書学院学院長)

編集委員会からのお知らせ

2021年に福音主義神学会・全国研究会議が「キリスト者の成熟」の主題で開催されました。研究会議ではこの主題が3つの観点(教会、社会、文化)に分けられ、それぞれについて発題と議論が交わされました。本誌では、今号と次号の2回に分けて研究会議の成果を取り上げることになっています。この52号では「教会」における「キリスト者の成熟」について扱っています。また次号の53号では、「社会」「文化」に関する論文を掲載する予定です。

本誌がみなさまの神学・聖書研究に役立つことを願っております。